

業務改善計画の取組状況の報告にあたって

当社は、業務改善計画の策定（2020年3月30日）以降、コンプライアンス推進体制の抜本的な強化や、指名委員会等設置会社への移行等外部の客観的な視点を重視した実効的なガバナンス体制の構築など、計画に基づく具体的施策を着実に実行しており、その取組みに手応えを感じているところです。

先般、内部通報をきっかけとして、新設したコンプライアンス委員会の協力や指導・助言を受けながら客観的かつ徹底的な調査を行った結果、金品受け取りの新たな事実が判明しました。大変残念なことであり、重く受け止めています（10月6日プレス公表済）が、これは、業務改善計画に基づく新たな仕組みが適切に機能した結果であると考えています。

今後も、業務改善計画の取組みを真に実効あるものにするため、私は独立した社外取締役の立場から指導・監督を行い、ガバナンス改革や企業体質の抜本的な是正等を通じて信頼の回復に努め、経営陣や従業員とともに力を合わせて、新しい関西電力の創生に全力を尽くしてまいります。

関西電力株式会社

取締役会長 榊原 定征